

NSK

日本精工株式会社



2024年3月期決算

Change & Go Beyond

2024年5月15日

本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しています。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの
一定の前提に基づいて作成しています。従って、実際の業績は、様々な要因により
業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

- 1. 2024年3月期(FY23) 通期実績**
- 2. 2025年3月期(FY24) 通期予想**
- 3. 中期経営計画2026の進捗と
FY2026新目標
(補足資料)**

1. 2024年3月期(FY23) 通期実績

2. 2025年3月期(FY24) 通期予想

3. 中期経営計画2026の進捗と

FY2026新目標

(補足資料)

✓ FY23 通期実績 (継続事業)

産業機械事業は年間を通して需要の調整局面が継続。

自動車事業はグローバル自動車生産台数の増加に伴い堅調に推移。

- » 売上高 **7,889**億円 (YoY +1.6%)
- » 営業利益 **274**億円 (YoY -37.5%)
- » 営業利益率 **3.5%**
- » ROE **1.3%**
- » ROIC **1.5%**
- » ネットD/Eレシオ **0.26**

✓ 安定配当の継続と機動的な自己株式の取得を実施

- » 年間配当金 30円/株 (中間 15円/株、期末 15円/株)
- » 2023年5~6月 自己株式を取得 217億円/25百万株
- » 2023年8月 自己株式を消却 51百万株

✓ 政策保有株式を大幅に縮減 (みなし保有株式含む)

- » 連結資本合計に対する保有比率 **5.5%** (FY22末時点 15.1%)

FY23 通期実績サマリー

- ✓ FY23通期実績は対前期増収減益。為替と売価転嫁を除くと実質減収。
- ✓ 予想に対しては、産業機械事業の下振れ影響により減収減益。
- ✓ 欧州での繰延税金資産取り崩し影響を当期利益に反映(-38億円)。

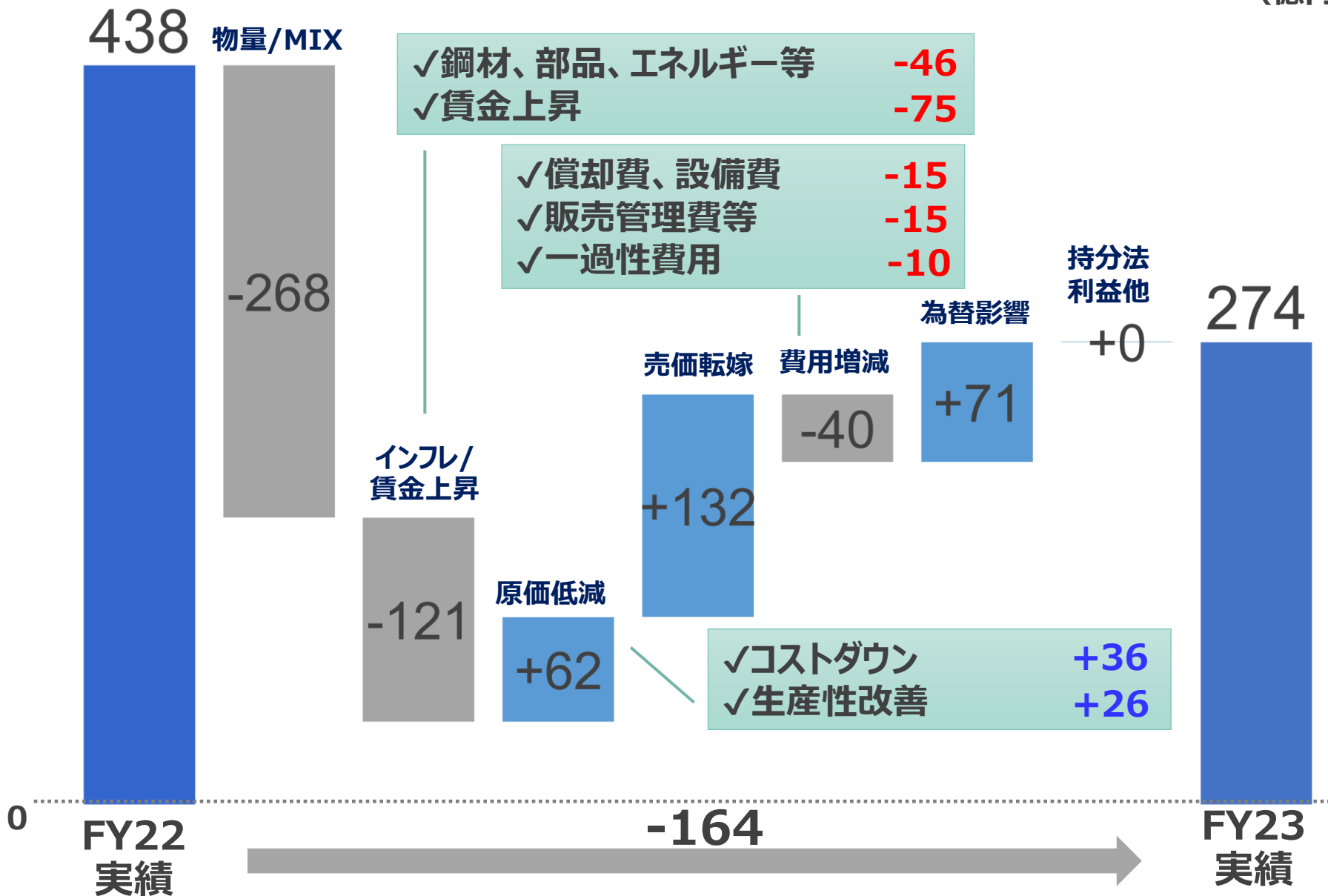
	(億円)	4Q実績		YoY	QoQ	通期実績		YoY		FY23 前回予想
		FY22	FY23	増減額 (為替影響)	増減額	FY22	FY23	増減額 (為替影響)	増減率	
継続事業	売上高	1,959	2,008	+49 (+124)	-6 (+11)	7,768	7,889	+121 (+302)	+1.6%	8,000
	セグメント利益※ (対売上高率)	124 (6.3%)	81 (4.0%)	-43 (+29)	-11 (+2)	443 (5.7%)	287 (3.6%)	-156 (+67)	-35.2%	315 (3.9%)
	営業利益 (営業利益率)	140 (7.1%)	81 (4.0%)	-59 (+26)	-1 (+2)	438 (5.6%)	274 (3.5%)	-164 (+71)	-37.5%	300 (3.8%)
	税引前利益	135	76	-60	-5	433	262	-171	-39.4%	285
	当期利益 (親会社所有者帰属)	99	45	-55	+12	268	135	-133	-49.5%	—
継続事業 + 非継続事業	当期利益 (親会社所有者帰属)	75	38	-37	-3	184	85	-99	-53.8%	140
	換算レート1USD	132.3	148.6	+16.3	+0.7	135.5	144.6	+9.1	+6.7%	142.5
	" 1EUR	142.1	161.3	+19.2	+2.2	141.0	156.8	+15.8	+11.2%	154.0
	" 1CNY	19.4	20.6	+1.3	+0.2	19.8	20.1	+0.4	+2.0%	19.7

※セグメント利益：営業利益からその他の営業損益（為替差損益ほか）を除いたもの

営業利益 増減内訳 FY22通期実績 ⇒ FY23通期実績

(継続事業)

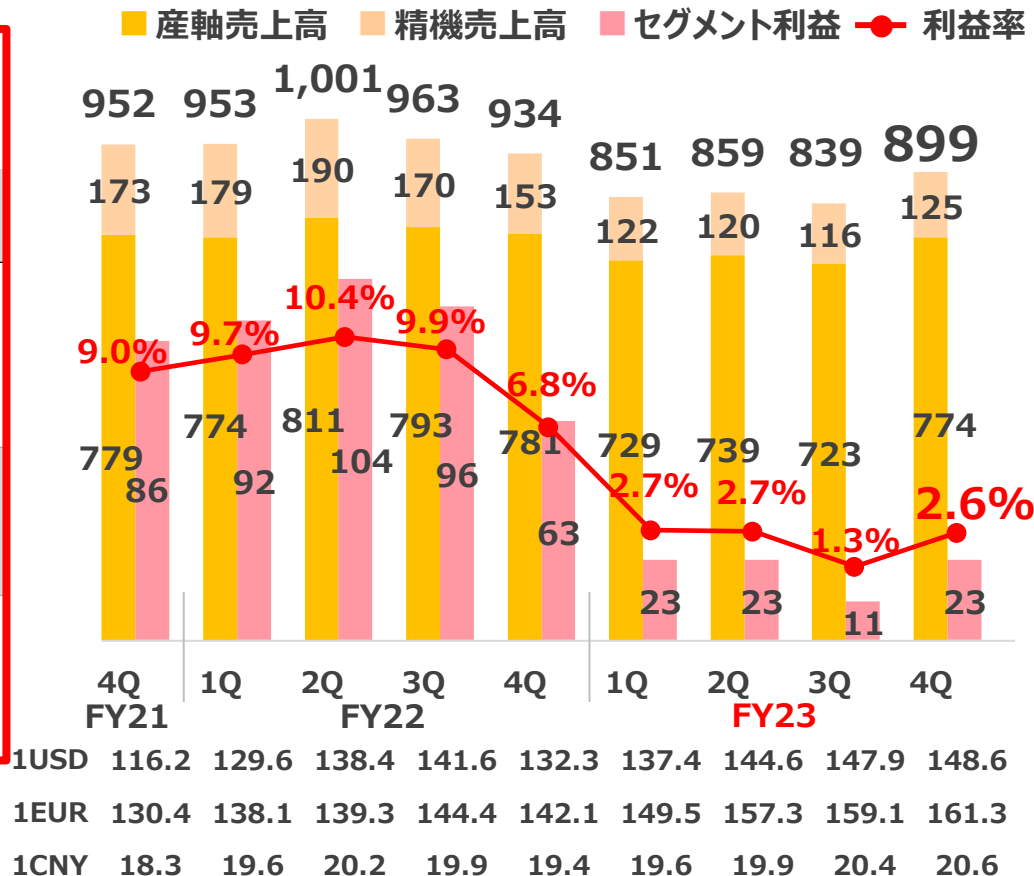
(億円)



FY23 通期実績 -産業機械事業-

(億円)

	通期実績		YoY	
	FY22	FY23	増減額 (為替影響)	増減率 (為替除く)
売上高	3,851	3,448	-403 (+151)	-10.5% (-14.4%)
産業機械軸受	3,159	2,965	-194	-6.1%
精機製品	692	483	-209	-30.2%
セグメント利益	355	80	-275	-77.5%
(対売上高 率)	(9.2%)	(2.3%)		
換算レート1USD	135.5	144.6	+9.1	+6.7%
" 1EUR	141.0	156.8	+15.8	+11.2%
" 1CNY	19.8	20.1	+0.4	+2.0%



- ✓ FY23通期実績 YoY減収減益。半導体製造装置向け等需要の調整が継続。
- ✓ 4Q 3か月実績はQoQで増収増益。
 - 産機軸受はアフターマーケットが米州・欧州で増収。E&Eは横ばいで推移。
 - 精機製品は工作機械、半導体製造装置向けが米州・欧州・アジアで増収。

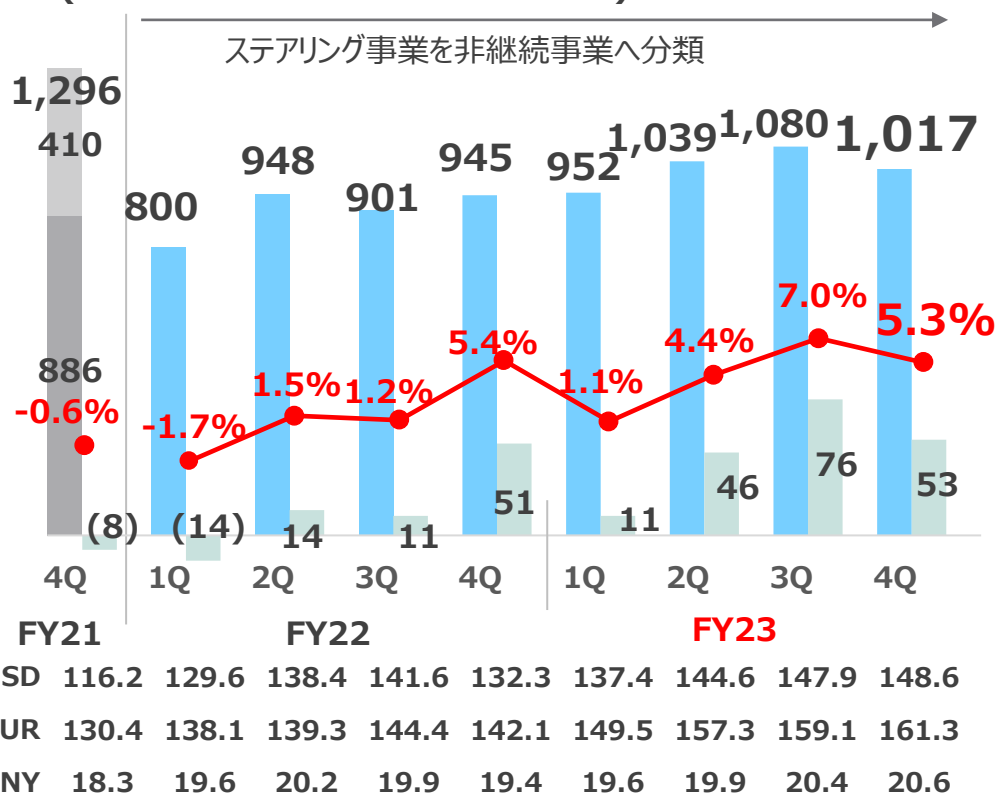
FY23 通期実績 -自動車事業-

(億円)

	通期実績		YoY	
	FY22	FY23	増減額 (為替影響)	増減率 (為替除く)
売上高	3,594	4,088	+494 (+142)	+13.8% (+9.8%)
セグメント利益	63	186	+122	+193.6%
(対売上高 率)	(1.8%)	(4.5%)		
換算レート1USD	135.5	144.6	+9.1	+6.7%
" 1EUR	141.0	156.8	+15.8	+11.2%
" 1CNY	19.8	20.1	+0.4	+2.0%

売上高について、従来「自動車軸受」および「自動車部品」で区分して開示していましたが、ステアリング事業を非継続事業へ分類したため、自動車事業のみの開示へ変更しています。
 なお、2023年8月1日に設立しましたJISとの合併会社における持分法損益はFY23 2Qよりセグメント利益に含めています。

■ 売上高 ■ セグメント利益 ● 利益率
 (FY21 ■ 自軸+AT ■ ステアリング)



✓グローバル自動車生産台数 FY23実績 90百万台※IHS YoY +8%

FY23通期実績 YoY増収増益。

✓4Q 3か月実績は自動車生産台数の減少もありQoQ減収減益。

1. 2024年3月期(FY23) 通期実績
2. 2025年3月期(FY24) 通期予想
3. 中期経営計画2026の進捗と
FY2026新目標
(補足資料)

2025年3月期(FY24) 通期予想のポイント

✓ FY24 通期予想 (継続事業)

産業機械事業は拡販とFY24後半からの設備投資需要の回復を想定。

グローバル自動車生産台数は90百万台。(FY23実績 90百万台と同水準)

欧州構造改革等に関する一過性費用を50億円織り込む。

前提為替レート：USD 145円、EUR 155円、CNY 20円

» 売上高	8,200億円 (YoY +3.9%)
» 営業利益	360億円 (YoY +31.4%)
» 営業利益率	4.4% (一過性費用を除く 5.0%)
» ROE	3%

✓ 設備投資

» 年間 **600**億円を計画。新商品、DX、環境関連投資は継続。
(リース含む)

✓ 配当方針にDOEを採用 (DOE … 親会社所有者帰属持分配当率)

» 配当性向30~50%に加え下限値としてDOEを採用(2.5%を下限の目安)

» 年間配当金は前期から4円増配の **34**円/株
(中間配当 17円/株、期末配当 17円/株)

2025年3月期(FY24) 通期業績予想

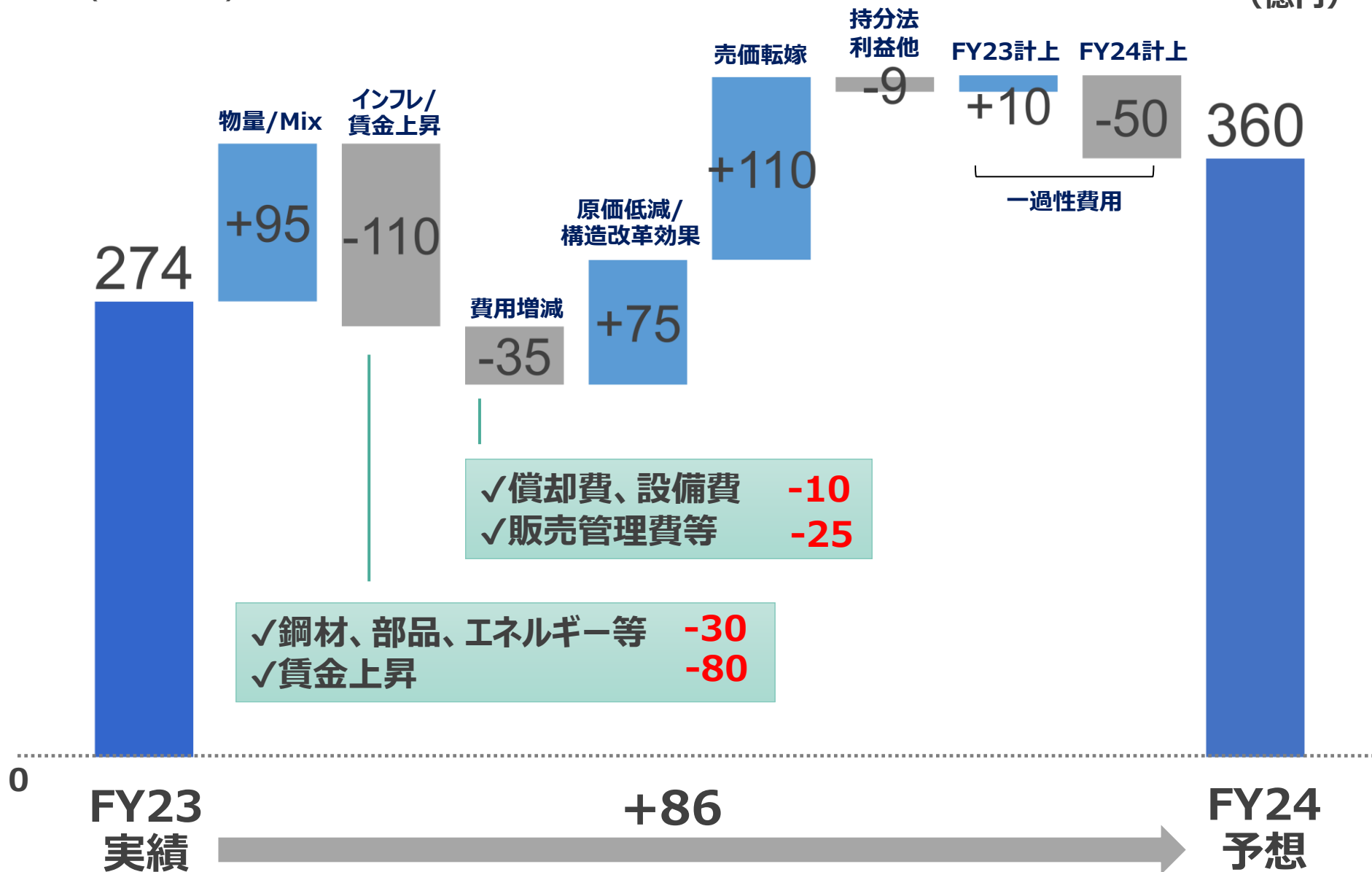
- ✓ 構造改革等による一過性費用の計上を織り込むが、産業機械事業の拡販・需要回復による増収効果と原価低減活動でYoY増収増益を計画。

	(億円)	FY23	FY24	YoY	
		通期実績	通期予想	増減額	増減率
継続事業	売上高	7,889	8,200	+311	+3.9%
	セグメント利益※ (対売上高率)	287 (3.6%)	380 (4.6%)	+93	+32.4%
	営業利益 (営業利益率)	274 (3.5%)	360 (4.4%)	+86	+31.4%
	税引前利益	262	335	+73	+27.8%
継続事業 + 非継続事業	当期利益 (親会社所有者帰属)	85	190	+105	+123.5%
	換算レート1USD	144.6	145.0	+0.4	+0.3%
	〃 1EUR	156.8	155.0	-1.8	-1.1%
	〃 1CNY	20.1	20.0	-0.1	-0.7%

※セグメント利益：営業利益からその他の営業損益（為替差損益ほか）を除いたもの

営業利益 増減内訳 (FY23通期実績 ⇒ FY24通期予想)

(継続事業)



FY24 通期業績予想 -セグメント別-

» 産業機械事業

セクター別需要動向 (NSK予測)

FY24前半
VS
FY23後半

FY24後半
VS
FY24前半

産業機械軸受	精機	AM	→	↑
		工作	→	↑
		半導体	→	↑↑
		ロボット	→	↑
		風力	→	↑
	E&M	鉄道	→	→
		電機・情報	→	→
		自動車	→	→

(億円)	FY23 通期実績	FY24		YoY		FY24	
		通期予想	増減額	増減率	前半予想	後半予想	
売上高	3,448	3,780	+332	+9.6%	1,790	1,990	
産業機械軸受	2,965	3,200	+235	+7.9%	1,530	1,670	
精機製品	483	580	+97	+20.1%	260	320	
セグメント利益	80	190	+110	+137.3%	40	150	
(対売上高 率)	(2.3%)	(5.0%)※			(2.2%)	(7.5%)	

※一過性費用を除く 5.8%

» 自動車事業

グローバル自動車生産台数

(百万台, IHS+NSK予測)

FY23		FY24	
90		90	
前半	後半	前半	後半
45	45	44	46

(億円)	FY23 通期実績	FY24		YoY		FY24	
		通期予想	増減額	増減率	前半予想	後半予想	
売上高	4,088	4,050	-38	-0.9%	1,960	2,090	
セグメント利益	186	180	-6	-3.1%	45	135	
(対売上高 率)	(4.5%)	(4.4%)※			(2.3%)	(6.5%)	

※一過性費用を除く 5%

1. 2024年3月期 通期実績
2. 2025年3月期 通期予想
3. **中期経営計画2026の進捗と
FY2026新目標
(補足資料)**

中期経営計画2026 3つの経営課題

トライボロジーとデジタルの融合による価値創出で
持続可能な社会の発展に貢献する 必要・信頼される企業をめざす

ESG経営

4コアバリューで社会から必要・信頼され選ばれる企業であり続ける

- ✓カーボンニュートラルの推進
- ✓働く環境づくり

計画を上回る進捗

CO₂排出削減 -52%見込み
(FY17比、Scope1, 2)

- ✓デジタル技術の活用
- ✓生産の超安定化
- ✓多様な人材の活用

あたらしい
価値の創造

変わる 超える
への挑戦

競争力の
不断の追求

経営資源の強化

デジタルの力で経営資源を強化し、
事業変革を起こし続ける

収益を伴う成長

事業環境の変化の中でも、
持続成長可能な事業基盤が
確立されている

- ✓ *Bearings & Beyond*
- ✓ ステアリング事業の構造改革
- ✓ 提携とM&A

計画に対し遅れ

事業環境の悪化

計画どおりに進捗

生産性1.5倍へ活動推進中

中期経営計画2026 事業環境の変化

- ✓ 各国金利上昇、中国経済の減速を背景に需要低迷が継続。
- ✓ エネルギーをはじめ人件費などグローバルでインフレが進展。

産業機械：FY22はレコード更新も期後半から需要調整が継続。回復に遅れ。

自動車：グローバル自動車生産台数は中計策定時の前提に対しダウン。

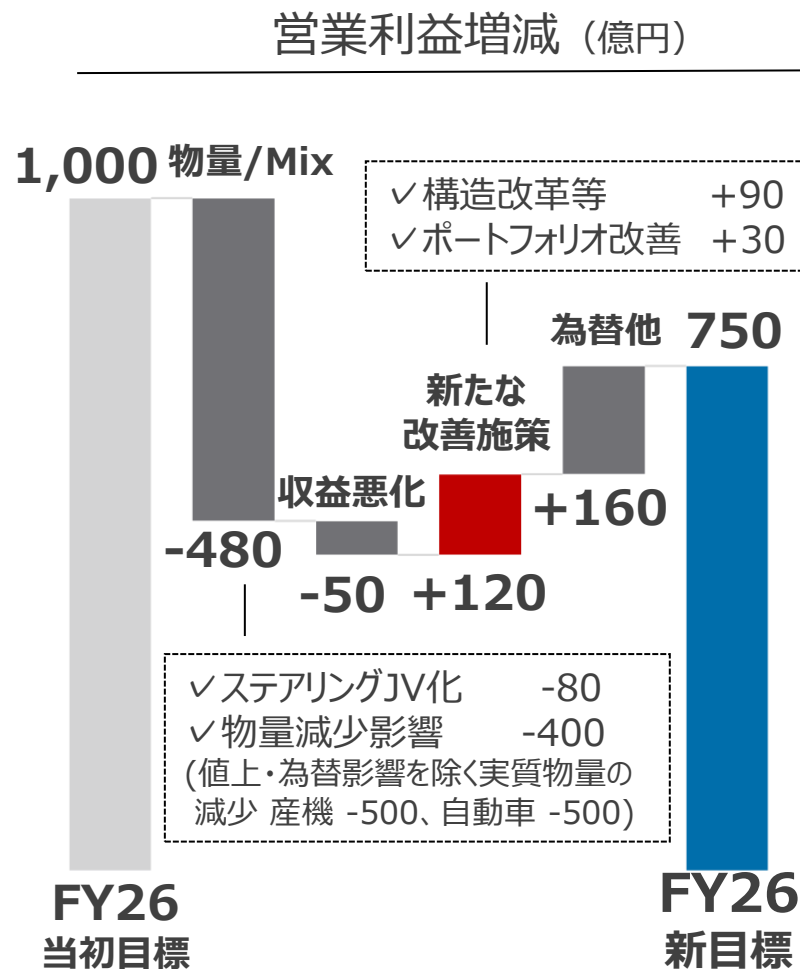
ステアリング：2023年8月にJISとのJV設立。持ち分法適用会社化。

マーケット前提	中期経営計画2026 策定時		FY23末時点	
	FY23	FY26	FY23	FY26
工作機械受注金額 予測 (日工会データを基にNSK予測)	1.8兆円	2.0兆円	1.5兆円	1.7兆円
半導体製造装置需要 予測 (SEMI, Gartnerデータを基にNSK予測)	110B\$	130B\$	100B\$	120B\$
グローバル自動車生産台数 予測 (百万台, NSK予測)	92	98	90	92

中期経営計画2026 新目標①

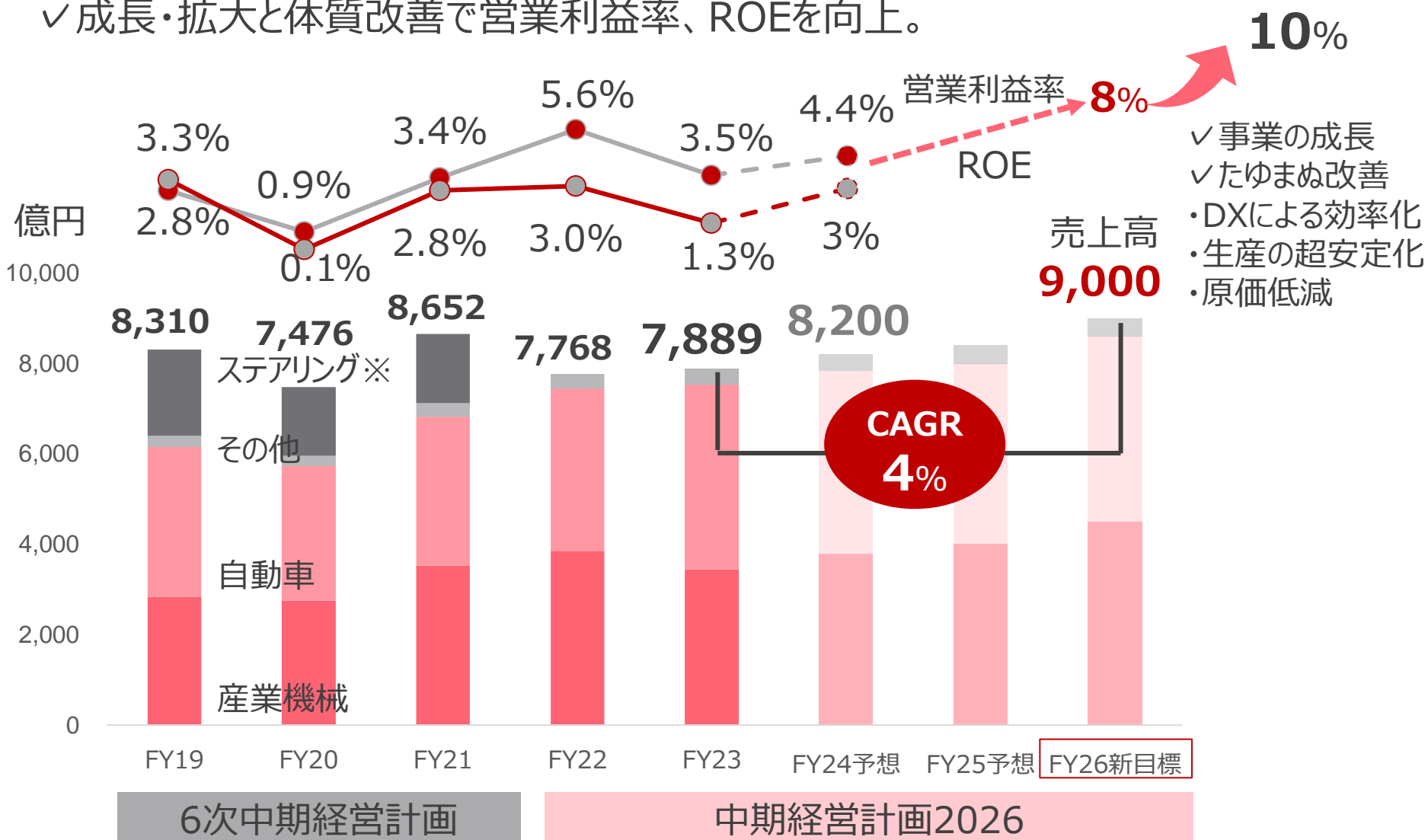
- ✓ 売上高 9000億円、営業利益 750億円、営業利益率 8%、ROE 8%に下方修正。
- ステアリング事業の売上高、利益を除く。
- 産業機械および自動車の売上高目標は維持。
- 産業機械の利益は実質物量減少を反映、自動車事業（除くステアリング）は目標を維持。

経営目標	当初目標	新目標
売上高	1兆円以上	9,000億円
産業機械	4,500億円	4,500億円
自動車(除くステアリング)	4,100億円	4,100億円
ステアリング	2,200億円	-
営業利益	1,000億円	750億円
営業利益率	10%	8%
産業機械	13%	10%
自動車(除くステアリング)	7%	7%
ステアリング	4%	-
ROE	10%	8%
ROIC	8%	6%
ネットD/Eレシオ	0.4倍以下	0.4倍以下
為替レート	USD112円	USD140円



中期経営計画2026 新目標②

- ✓ FY23からFY26でCAGR4%の成長。
- ✓ 成長・拡大と体質改善で営業利益率、ROEを向上。



※FY22以降はステアリング事業のJV化影響を反映

FY24~26の狙い

事業環境の変化による収益体質悪化の回復に取り組み、
販売成長とポートフォリオ改善による事業基盤の強化を目指す

経営方針

- ✓ 3つの経営課題の取り組み継続。
- ✓ 収益性の改善が最優先課題。
- ✓ 人材/環境/DXなど将来投資は緩めない。

3つの経営課題

「収益を伴う成長」
「ESG経営」
「経営資源の強化」

成長・拡大

- ✓ 販売ポートフォリオの改善
 - » 産機ビジネス拡大
 - » EV顧客拡大とシェアアップ
 - » 新商品の市場投入

体質改善

- ✓ 生産の超安定化
- ✓ DXによる効率化
- ✓ 原価低減と賃金上昇の売価転嫁
- ✓ 構造改革/生産再編の実行

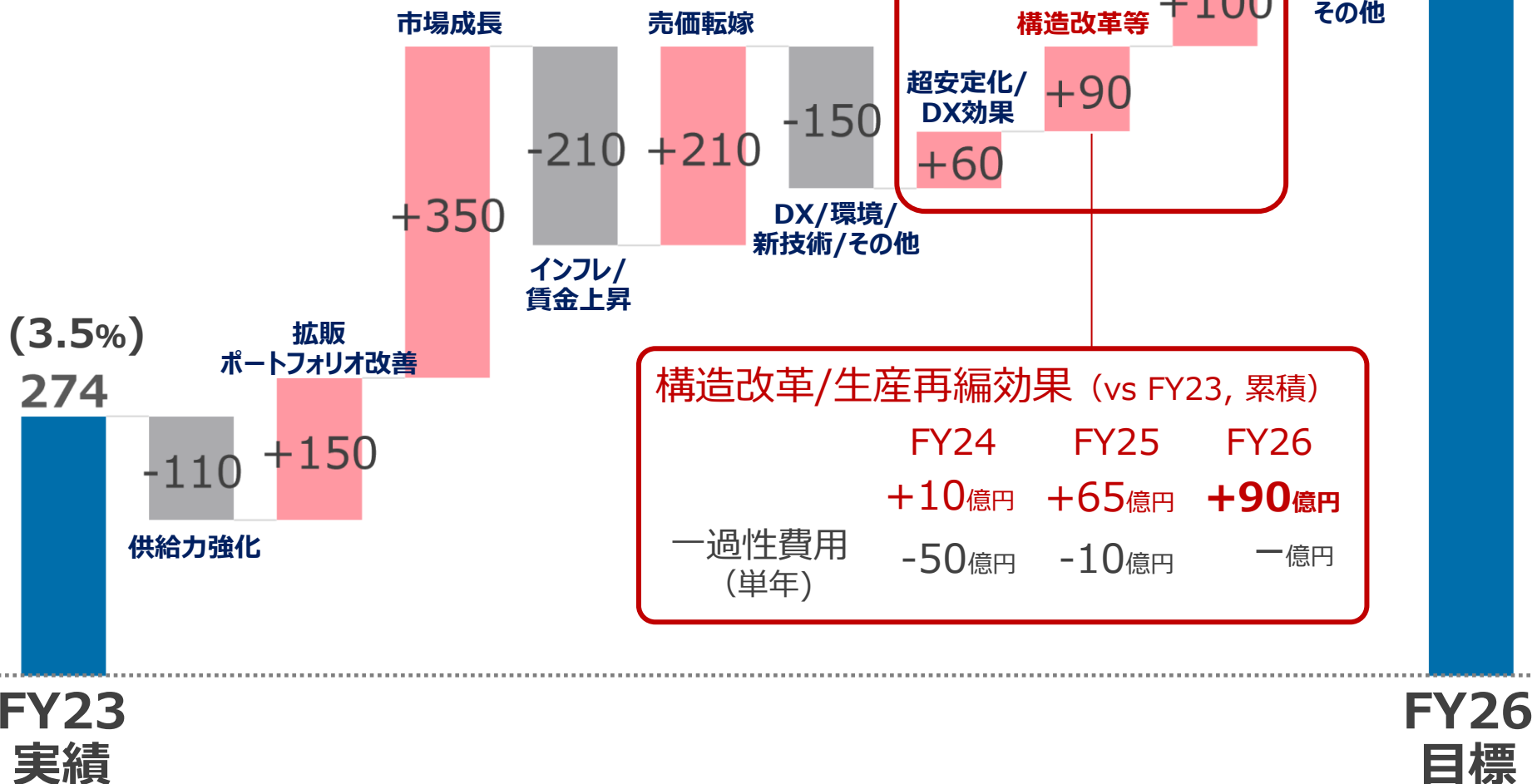
取り組み施策 新たな取り組み

FY23 → FY26収益改善ロードマップ

営業利益 億円
(営業利益率)

体質改善

成長・拡大 +400



構造改革/生産再編効果 (vs FY23, 累積)

	FY24	FY25	FY26
一過性費用 (単年)	+10億円	+65億円	+90億円
	-50億円	-10億円	一億円

事業別課題 産業機械事業①

- ✓ 計画比需要減も電動化、自動化、デジタル化、環境市場での拡大戦略は継続。
- ✓ E&Eは市場悪化とインフレ影響で収益性低下。体質改善のため生産再編を実行。

» 事業環境の変化

- ・電動化、自動化等設備投資需要拡大

- ・中国経済の減速
- ・在庫調整の長期化

» リスクと機会

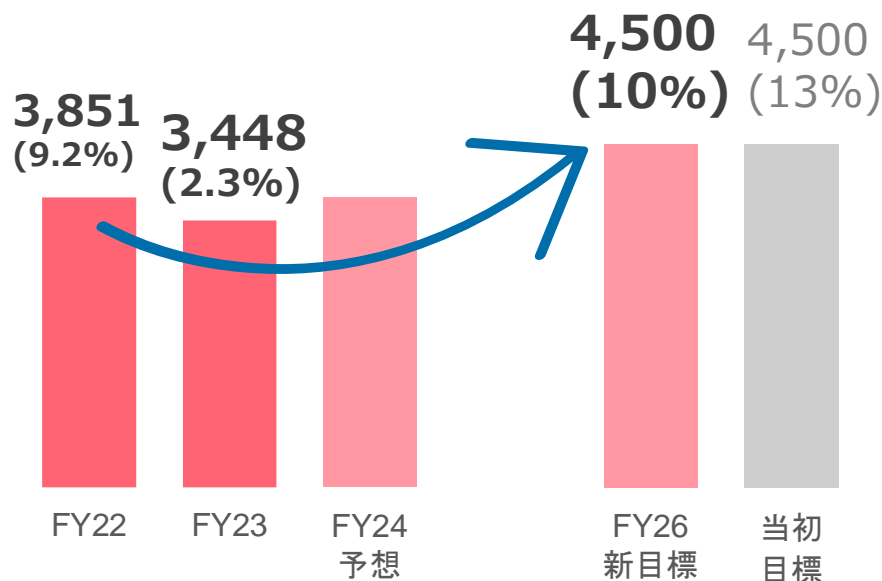
- ・中国経済の長期低迷
- ・中国勢の台頭

- ・NSKの貢献市場拡大
-半導体、工作機械、ロボット、鉄道等
- ・新エネなど新たな成長市場

» 取り組み課題

- 成長・拡大
 - ・供給力の強化
 - ・AM拡販/新市場への参入
- 収益改善
 - ・E&E事業の生産再編

✓ 売上高 単位 億円 (セグメント利益率)



FY26ターゲット

売上高	4,500億円
セグメント利益率	10%

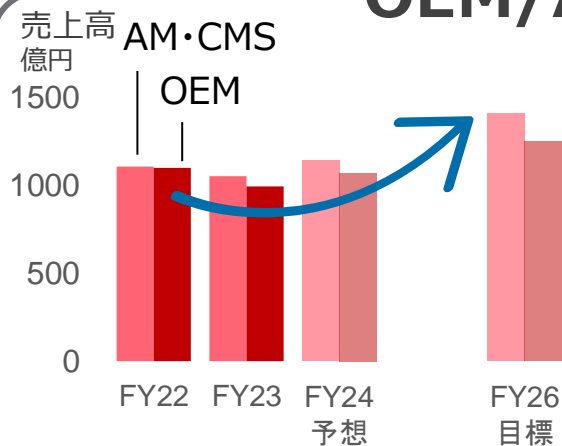
営業利益率のターゲットは当初の13%から引き下げるが、市場回復+拡販効果と収益改善で10%以上へ向上。

✓ 産機事業ポートフォリオ拡大

FY23	FY26
44%	50%

事業別課題 産業機械事業②

OEM/AM・CMS



✓AM 欧米の拡販強化

- 米州** 主要代理店との協業
風力補修ビジネス獲得
供給拠点の強化
- 欧州** 東欧でのビジネス拡大



✓OEM 製品の差別化

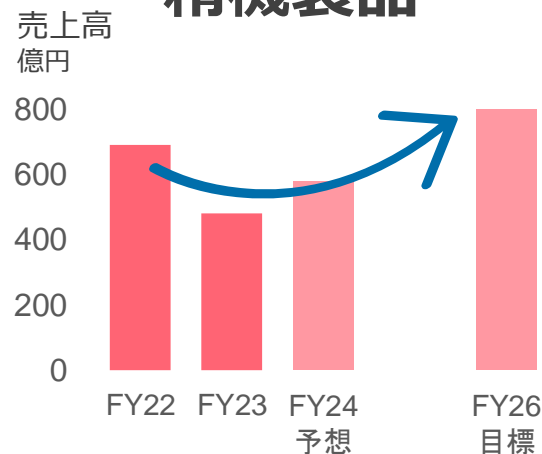
工作/ロボット/風力/鉄道/新エネ

- ・工作機械の高度化への対応
- ・特殊環境下での長寿命化

⇔✓CMS セクターの拡大

- ・製薬 / 鉄鋼 / 製紙
- ・プラグ&プレイ型製品投入

精機製品



✓収益を伴う成長

- ・成長市場での技術の差別化
半導体/二次電池関連
- ・供給能力と短納期対応
市販/一般機械

✓新商品・新領域への参入

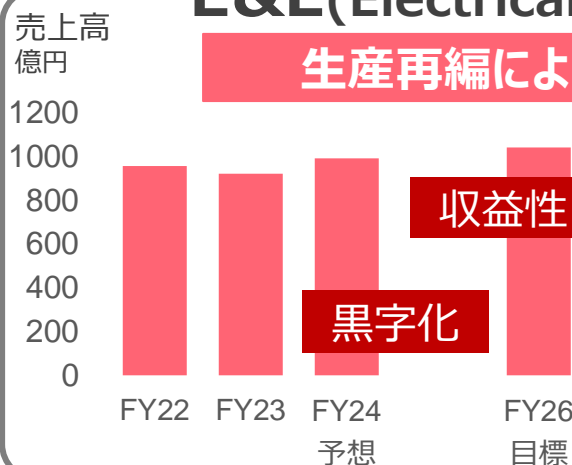
- ・サービスロボット
- ・産機電動アクチュエータ

アクティブキャスタ
「PalGo」



E&E(Electrical & Electrification)

生産再編による事業の立て直し



収益性↑

黒字化

✓グローバル生産再編の完遂

欧州起点に日/米/アジアで
生産移管と集約を推進

- ・欧州構造改革
- ・北米AM拡大に向けた拠点活用

事業別課題 自動車事業

- ✓ 計画に対して自動車生産台数前提を見直し（98百万台 → 92百万台）。
- ✓ 電動車向けの拡販継続。一方、ICE向けの縮小前倒しにより生産再編を実行。

» 事業環境の変化

- ・自動車台数回復 98百万台
- ・電動化の加速

» リスクと機会

- ・中国経済の減速
- ・台数伸び鈍化 92百万台

- ・価格競争の激化
- ・早まる開発スピード

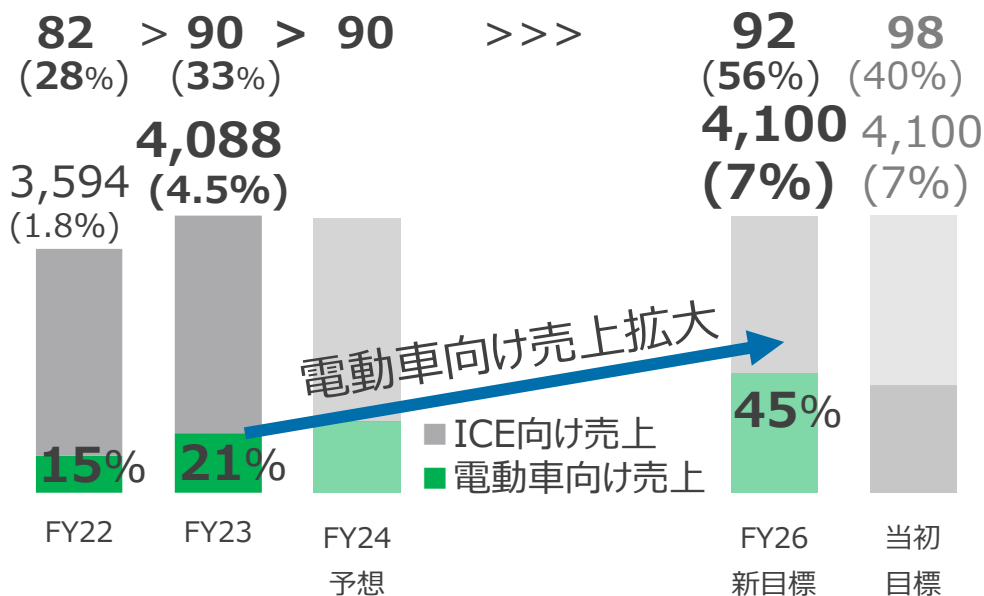
- ・EV化を機とした新規顧客開拓と新商品提案機会増加

» 取り組み課題

- 成長・拡大
 - ・電動車向け拡販による収益改善と成長差別化技術 電食/耐久/低トルク/静音
 - ・新商品の市場化と開発スピード強化（中国現地R&D強化）
- 収益改善
 - ・ICE向け製品の生産再編

✓ 売上高 単位 億円（セグメント利益率）

自動車生産台数 百万台（電動車比率%, BEV+HEV）NSK予測



FY26ターゲット

売上高 **4,100億円**
セグメント利益率 **7%**

電動車向け売上拡大と収益改善施策で営業利益率7%達成を目指す。

✓ ポートフォリオ変革

- 高付加価値製品受注によるシェアアップ
- 電動ブレーキBS 300億円規模への成長
- 非日系顧客の拡大

参考) 軸受需要のインデックス (NSK予測)

ICE 100 : BEV 80 : HEV 110
Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

MTP2026 財務戦略の基本方針

収益を伴う成長

キャッシュの創出

4,000~5,000億円
/ 5年間

営業利益率 8%

減価償却費

政策保有株式 (原則保有しない)

ほか 低収益資産の縮減

持続的成長のための投資

経営資源の強化

✓ 設備投資 **2,800億円**/ 5年間

残り3年間 1,800億円

E
S
G
経営

» 経常投資 1,600億円 能力・基盤維持	» 増強投資 700億円 産機拡大・超安定化	» 新技術 500億円 DX・新製品
------------------------------	------------------------------	--------------------------

✓ 技術関連費用 3~4%/売上高

✓ 企業価値を高めるための投資

人的資本への投資 DXへの投資 M&A ほか

安定的な利益還元の継続

✓ 配当性向 30~50%

1,000億円~/ 5年間

✓ 各期の配当はDOE 2.5%を下限の目安

✓ 自己株式取得 (機動的に実施)

新商品を育てる - Bearings & Beyond -

- ✓ コア技術の追求でNo.1製品の付加価値を高める。
- ✓ コア技術の拡大で新商品を育て、新たな価値を創出する。

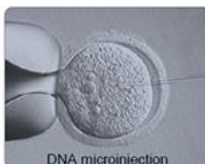
伝動×制御

安全・安心な社会への貢献

- ✓ 人とロボットの協業
 - ・搬送アシストロボット
 - 2024年3月から
 - 湘南鎌倉総合病院にて稼働



- ✓ 医療・バイオ分野への挑戦
 - ・精密制御マニピュレータ



- ✓ 電動化への貢献
 - ・電動油圧ブレーキシステム用ボールねじ



新商品

目標 500億円

進捗 8割

オープンイノベーション

M&A

コア技術

- トライボロジー技術
- 材料技術
- 解析技術
- メカトロ技術

No.1製品

- ボールベアリング
- 精密ベアリング
- 精密ボールねじ
- 自動車ベアリング



モノ売り×コト売り

循環型社会・環境へ貢献

- ✓ 省資源・省エネルギー
 - ・PLMモデルの確立へ
 - OEM受注 ~ CMSによる故障・寿命診断 ~
 - リコンディショニングで軸受修理 ~ AM受注 ~
- ✓ 再生可能エネルギー
 - ・水素エネルギーなど特殊環境への対応

- ✓ 地球環境の保全
 - ・食用油劣化抑制フィルター



企業価値の創造

✓「Bearings & Beyond」「DX」「変わる 超える」によって収益を伴う成長を実現するとともに、それを支える企業文化を醸成する。

		MTP2026	FY30 Post2026に目指す姿	
Bearings & Beyond コア技術の追求と拡大	ポートフォリオ変革	産機 5 : 5 自動車	産機 6 : 4 自動車	持続的成長 収益性 安定性 コスト削減 資本効率向上
	- No.1製品を伸ばす (電動化・精機)	800億円(精機)	1,000億円(精機)	
	- PLM(AM+CMS)	1,300億円	1,500億円	
	- 新商品を育てる	500億円	750億円	
DX No. 1 の品質と信頼の追求	生産の超安定化	生産性1.2倍	1.5倍	コスト削減
	リアルデジタルツイン	» 省人-10%	» -20%	
	基盤システム	» 効果60億円/年	» 120億円/年	
変わる 超える 未来志向で高い目標への挑戦	多様性	ロール型人事制度の導入/キャリア採用		資本効率向上
	人材育成	デジタル人材育成/大学との連携		
	エンゲージメント向上	タウンホールミーティング (各拠点・階層)		
経営目標	営業利益率	8%	10%	
	ROE / ROIC	8% / 6%	10% / 8%	

MTP2026経営課題の中で取り組むマテリアリティ

マテリアリティ（重要課題）と3つの経営課題の結びつき

企業理念	コアバリュー	マテリアリティ	MTP2026 3つの経営課題	SDGs (関連するゴール)
<p>円滑で安全な 社会に貢献</p>	安全 品質 環境 コンプライアンス	1. 製品の安全性と信頼性の追求	ESG経営	
		2. トライボロジーとデジタルの融合 による価値創出	経営資源の強化 収益を伴う成長	
<p>地球環境の保全を めざす</p>		3. 脱炭素社会構築に貢献	ESG経営	
		4. 循環型社会構築への貢献 (省資源・リサイクル)	ESG経営	
<p>グローバルな活動に よって、 国を越えた 人と人の結びつきを 強める</p>		5. 労働における基本的権利の尊重	ESG経営	
		6. 誠実、公正、信頼される 企業文化の醸成	ESG経営	
		7. 人的資本の価値最大化	経営資源の強化 ESG経営	
		8. 持続可能なサプライチェーン マネジメントの実現	経営資源の強化 ESG経営	
		9. 地域経済の発展への貢献	収益を伴う成長	

補足資料

補足. ESG経営、経営資源の強化

✓ ESG経営

環境

「つくる」事業活動のCO₂排出削減
(Scope1+2 FY17比)

FY23見込 **-52%**削減
(FY26目標 -50%)

「つかう」商品によるCO₂排出削減貢献量

FY23見込 **2,455**千t
(FY26目標 3,000千t)

サステナビリティ・リンク・ボンドを発行 (2023年9月)

社会

人権方針を開示 (2022年10月)、7年連続でホワイト500認定、
コンプライアンス教育の徹底 (技術者倫理、品質など)

ガバナンス

買収防衛策を廃止 (2023年5月)

✓ 経営資源の強化

デジタル化に向けた
環境整備

- ・DX人材育成プログラムを推進中
(受講者数目標5,000名に対し80%以上の進捗)
- ・基幹システムの刷新を推進

生産の超安定化

- ・生産性1.5倍を目指した活動を推進中
FY23時点で対象ラインの43%に着手

多様な人材・知見の
活用

- ・多様性比率※ FY23 12% (FY26目標 15%)
- ・東京工業大学とトライボロジー技術に関する連携を強化

※女性、外国籍、キャリア採用、FY23よりステアリング事業を除く

✓ 電動車市場が拡大する中でNSKの成長のキーとなる製品

eAxle用軸受

拡販



ハブユニット軸受

拡販



電動油圧ブレーキシステム用ボールねじ

新商品



技術・市場ニーズ

- ・モータの高出力・高電圧化による電食問題
- ・高速回転/低フリクション

- ・航続距離の延長
- ・バッテリー搭載による重量増への耐久性

- ・法制化で需要拡大
- ・小型/高容量化
- ・応答性、制御性

NSKの強み

- ・電食問題/高速回転/低フリクションへ対応した製品ラインナップ

- ・低フリクションかつ高耐荷重のラインナップ
- » 第3世代テーパハブユニット軸受

- ・NSK独自の加工技術で小型/軽量化を実現
- ・ボールねじタイプは応答性/制御性で優位

「安定的な利益還元」の継続

MTP2026 [現状]

- ・ 配当性向 30~50%
- ・ 総還元性向 50%程度
(MTP2026期間累計)
- ・ 自己株式取得 機動的に実施

MTP2026 (FY24~26) [変更]

- ・ 配当性向 30~50%
- ・ 各期の配当はDOE 2.5%を下限の目安
(DOE … 親会社所有者帰属持分配当率)
- ・ 自己株式取得 機動的に実施

[FY22~23実施]

- ・ 安定配当 30円配当 継続
- ・ 自己株式取得 217億円

安定的・継続的な配当の実施と 企業価値の向上により
TSR (株式トータルリターン) を拡大

補足. FY23実績 事業セグメント別業績

FY23 1Q決算にてステアリング事業を非継続事業へ分類したことに伴い、FY22に遡って非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しています。なお、2023年8月1日に設立しましたJISとの合併会社における持分法損益はFY23 2Qより自動車事業のセグメント利益に含めています。

(億円)		FY22実績			FY23実績			通期YoY	
		前半	後半	通期	前半	後半	通期	増減額	増減率
合計	売上高	3,862	3,905	7,768	3,867	4,022	7,889	+121	+1.6%
	セグメント利益	208	235	443	114	173	287	-156	-35.2%
	(対売上高率)	(5.4%)	(6.0%)	(5.7%)	(3.0%)	(4.3%)	(3.6%)		
	営業利益	196	242	438	111	163	274	-164	-37.5%
	(営業利益率)	(5.1%)	(6.2%)	(5.6%)	(2.9%)	(4.0%)	(3.5%)		
産業機械 事業	売上高	1,954	1,897	3,851	1,710	1,738	3,448	-403	-10.5%
	産業機械軸受	1,585	1,574	3,159	1,468	1,497	2,965	-194	-6.1%
	精機製品	369	323	692	242	241	483	-209	-30.2%
	セグメント利益	196	159	355	46	34	80	-275	-77.5%
	(対売上高率)	(10.0%)	(8.4%)	(9.2%)	(2.7%)	(2.0%)	(2.3%)		
自動車 事業	売上高	1,748	1,846	3,594	1,991	2,097	4,088	+494	+13.8%
	セグメント利益	1	63	63	57	129	186	+122	+193.6%
	(対売上高率)	(0.0%)	(3.4%)	(1.8%)	(2.8%)	(6.2%)	(4.5%)		
その他	売上高	291	299	590	327	349	677	+87	+14.7%
	セグメント利益	10	12	22	14	10	24	+2	+8.9%
	(対売上高率)	(3.3%)	(4.0%)	(3.7%)	(4.2%)	(2.8%)	(3.5%)		
売上高消去		-131	-136	-267	-162	-163	-325	-57	-
その他の営業損益/調整額		-11	9	-2	-5	-10	-15	-14	-

補足. FY24予想 事業セグメント別業績

FY23 1Q決算にてステアリング事業を非継続事業へ分類したことに伴い、FY22に遡って非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しています。なお、2023年8月1日に設立しましたJISとの合併会社における持分法損益はFY23 2Qより自動車事業のセグメント利益に含めています。

(億円)		FY23実績			FY24予想			通期YoY	
		前半	後半	通期	前半	後半	通期	増減額	増減率
合計	売上高	3,867	4,022	7,889	3,930	4,270	8,200	+311	+3.9%
	セグメント利益	114	173	287	90	290	380	+93	+32.4%
	(対売上高率)	(3.0%)	(4.3%)	(3.6%)	(2.3%)	(6.8%)	(4.6%)		
	営業利益	111	163	274	80	280	360	+86	+31.4%
	(営業利益率)	(2.9%)	(4.0%)	(3.5%)	(2.0%)	(6.6%)	(4.4%)		
産業機械 事業	売上高	1,710	1,738	3,448	1,790	1,990	3,780	+332	+9.6%
	産業機械軸受	1,468	1,497	2,965	1,530	1,670	3,200	+235	+7.9%
	精機製品	242	241	483	260	320	580	+97	+20.1%
	セグメント利益	46	34	80	40	150	190	+110	+137.3%
	(対売上高率)	(2.7%)	(2.0%)	(2.3%)	(2.2%)	(7.5%)	(5.0%)		
自動車 事業	売上高	1,991	2,097	4,088	1,960	2,090	4,050	-38	-0.9%
	セグメント利益	57	129	186	45	135	180	-6	-3.1%
	(対売上高率)	(2.8%)	(6.2%)	(4.5%)	(2.3%)	(6.5%)	(4.4%)		
その他	売上高	327	349	677	330	350	680	+3	+0.5%
	セグメント利益	14	10	24	5	5	10	-14	-57.5%
	(対売上高率)	(4.2%)	(2.8%)	(3.5%)	(1.5%)	(1.4%)	(1.5%)		
売上高消去		-162	-163	-325	-150	-160	-310	+15	-
その他の営業損益/調整額		-5	-10	-15	-10	-10	-20	-5	-

補足. FY23実績 顧客地域別売上高

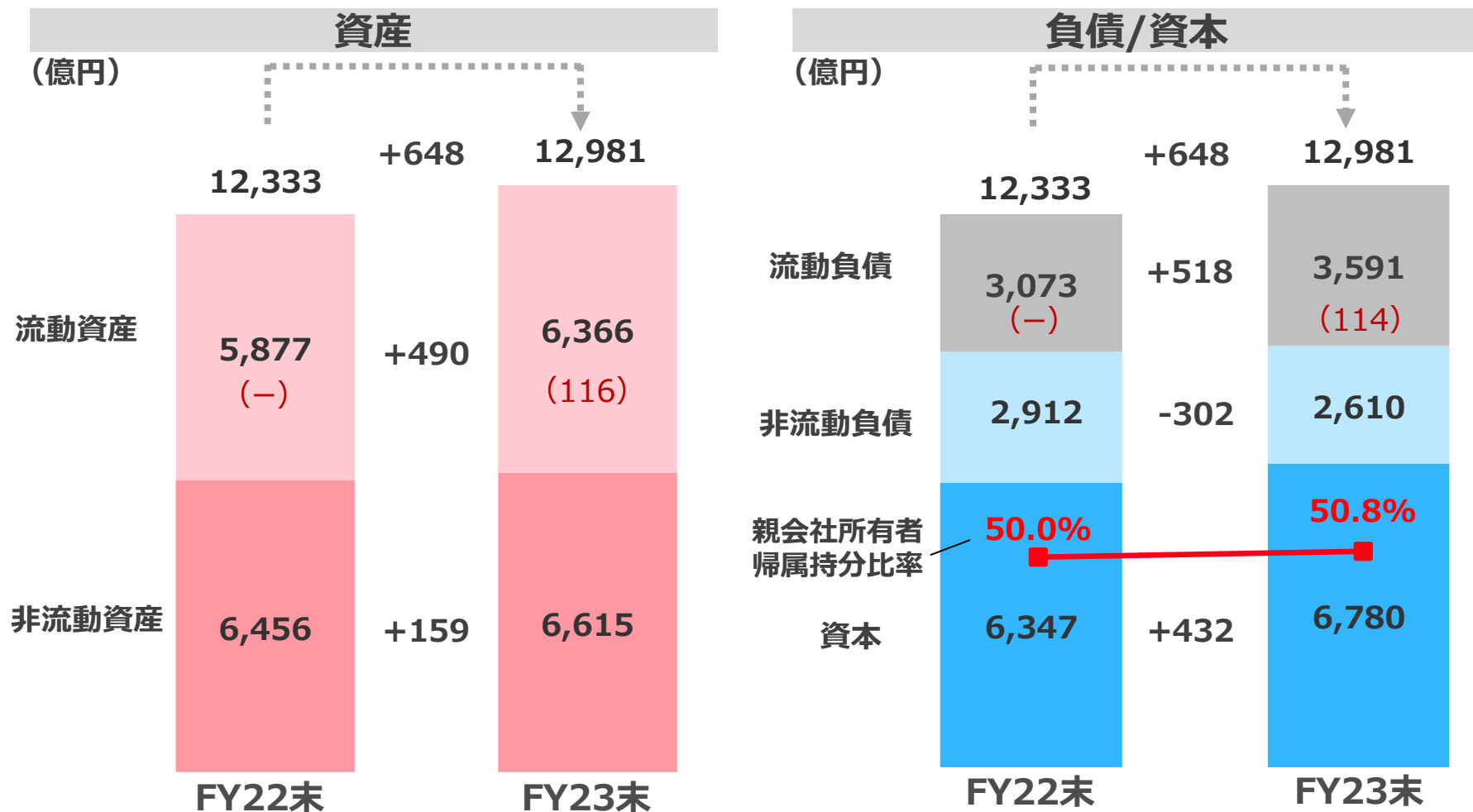
FY23 1Q決算にてステアリング事業を非継続事業へ分類したことに伴い、FY22に遡って非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しています。なお、2023年8月1日に設立しましたJISとの合併会社における持分法損益はFY23 2Qより自動車事業のセグメント利益に含めています。

(億円)	FY22実績			FY23実績			YoY (通期)	
	前半	後半	通期	前半	後半	通期	増減額	増減率
売上高	3,862	3,905	7,768	3,867	4,022	7,889	+121	+1.6%
日本	1,339	1,343	2,682	1,363	1,348	2,711	+29	+1.1%
海外合計	2,523	2,562	5,085	2,504	2,674	5,178	+92	+1.8%
(海外比率)	(65.3%)	(65.6%)	(65.5%)	(64.7%)	(66.5%)	(65.6%)		
米州	626	682	1,308	684	760	1,444	+136	+10.4%
欧州	493	544	1,037	522	558	1,081	+44	+4.2%
中国	852	779	1,632	750	792	1,542	-89	-5.5%
その他アジア	553	557	1,109	548	563	1,111	+2	+0.1%
換算レート								
1USD	134.0	137.0	135.5	141.0	148.2	144.6	+9.1	+6.7%
1EUR	138.7	143.2	141.0	153.4	160.2	156.8	+15.8	+11.2%
1CNY	19.9	19.6	19.8	19.8	20.5	20.1	+0.4	+2.0%

補足. 財政状態

FY23 1Q決算にてステアリング事業を非継続事業へ分類したことに伴い、非継続事業の資産および負債を、「売却目的保有に分類される処分グループに係る資産および負債」として（）内数値に記載しています。なお、当社は2023年8月1日にJISとの合併会社を設立しており、上記の資産および負債に関して一部の会社については後日個別譲渡を予定しています。

換算レート	FY22末	FY23末
1USD	133.5	151.4
1EUR	145.7	163.3
1CNY	19.4	20.8



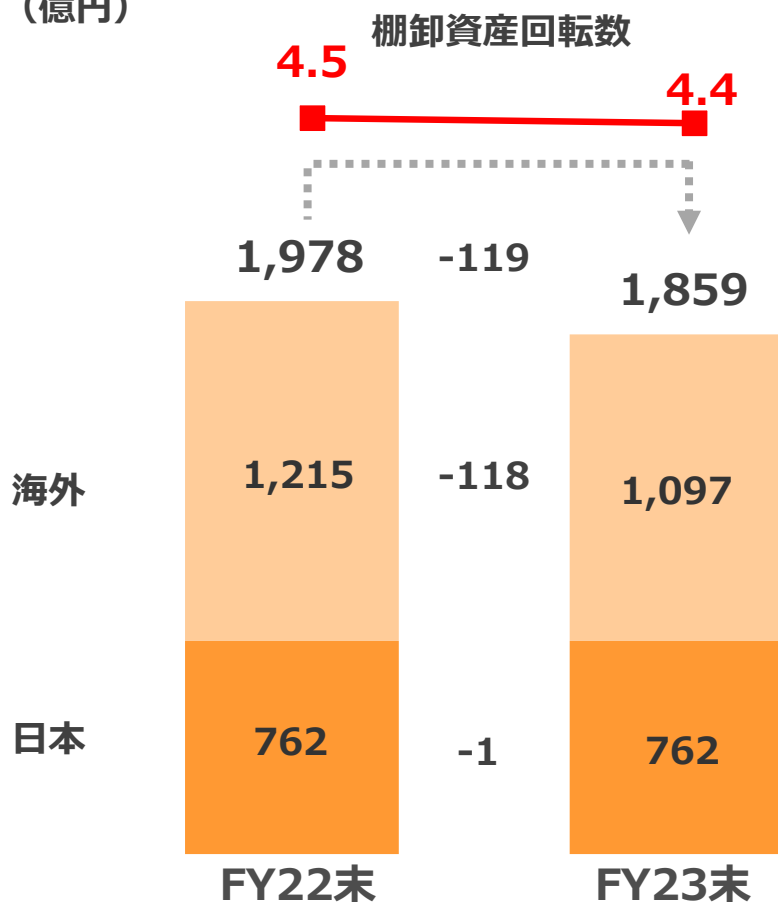
補足. 棚卸資産/有利子負債

FY23 1Q決算にてステアリング事業を非継続事業へ分類したことに伴い、FY23実績は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しています。

換算レート	FY22末	FY23末
1USD	133.5	151.4
1EUR	145.7	163.3
1CNY	19.4	20.8

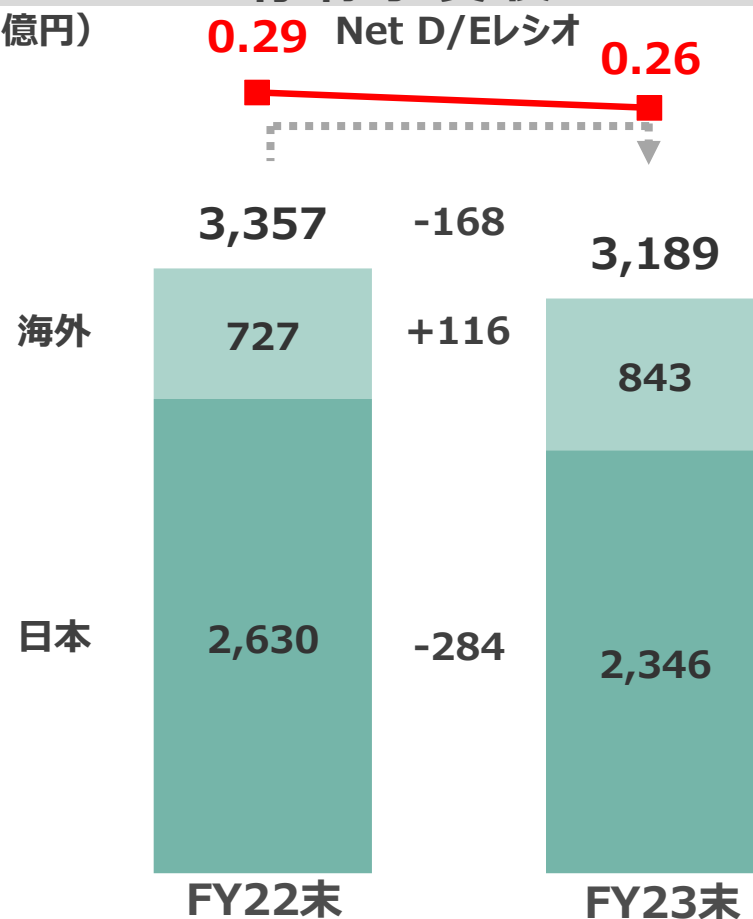
棚卸資産

(億円)



有利子負債

(億円)



補足. 設備投資額/減価償却費/研究開発費

FY23 1Q決算にてステアリング事業を非継続事業へ分類したことに伴い、FY22に遡って非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しています。

(億円)	FY22 通期実績	FY23 通期実績	FY24 通期予想
設備投資額	541	585	600
設備投資額 (リース除く)	484	536	550
減価償却費	501	529	540
減価償却費 (リース除く)	453	475	490
研究開発費 (制度決算ベース)	154	156	160
(参考) 技術関連費用	259	274	290



NSKの企業理念

NSKは、MOTION & CONTROL™ を通じ、
円滑で安全な社会に貢献し、
地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、
国を越えた人と人の結びつきを強めます。

NSKビジョン2026

あたらしい動きをつくる。

あらたなライフスタイルを生み出し、笑顔あふれる 明日 を実現するための、
次の「動き」をつくる。

社会のニーズをいち早く発掘し、世界中の期待を超える、
誰も想像できなかった「動き」をカタチにする。

私たちが未来を動かしていく。